

平成20年11月20日発行

第163号

発行/高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32
事務局 ☎ 3317-6614

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

セシオン

高円寺地域区民センター報

ふれあい

http://koenjiunkyo.web.infoseek.co.jp

あわてんぼうの クリスマス会2008



日時：12月6日(土)午後1時～3時
場所：和田区民集会所(住所)和田2-31-21
和田小学校 体育館

内容：和田中吹奏楽・マジックショー
・防犯ビデオとお話・

お土産：ケーキ・袋菓子差し上げます
お土産は、申し込み対象者のお子様のみ



申込方法：「往復ハガキ」にて
1) イベント名 2) 住所 3) 氏名
4) 年齢 を記入の上、お申込みください
(未就学児は、同伴保護者名も記入。2名連記可)
申込先：高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32
締切日：11月20日(木) 必着
対象者：3歳以上小学生まで
(未就学児は、保護者同伴)

高円寺地域集会施設運営協議会

臨時総会を終えて



平成二十年十月二十一日(火)高円寺地域区民センターにおきまして、臨時総会が開催され、高円寺地域集会施設運営協議会の新委員十四名が各種地域団体並びに一般公募から選出承認され、再任委員十六名の合計三十名で新たな船出を致しました。また、任期満了で退任された第九期委員十六名の方々には、四年間のご苦労に報いて、松沼信夫副区長より感謝状が手渡されました。

秋澤前会長からは、「今年五月に、セシオン杉並開館二十周年を迎え、二年前の四月高円寺北区民集会所の開所を経験することが出来ました。四年間全員が心を一つにして、地域の皆さんに喜びと楽しみを与えていただいた委員の皆さん、事務局並びに行政の方々から感謝申し上げます。高円寺地域集会施設運営協議会が、地域の皆様のコミュニティ広場として、益々喜んでいただけるよう更なる発展を期待します」と挨拶をいただきました。

平成二十年十月二十一日

セシオン杉並 9月27日(土) こどもまつエア 2008



ふれあい音楽会

ゴスペルオータムコンサート9月20日(土)



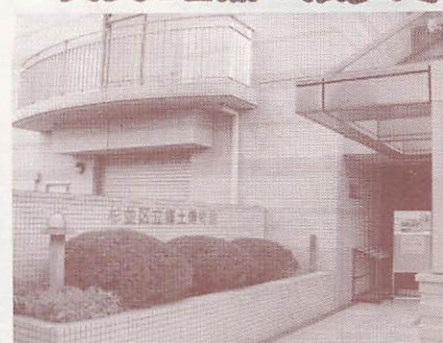
☆委員の紹介
(◎印は部長)
(○印は副部長)
よろしくお願ひします

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------------------------------|-------------------------------|---------------------|--|--|---|-----------------------|--|--|--------------------------------|
| <p>広報部
◎森 孝夫
○須賀田正泰
高安千代子
小松崎明子
鈴木 悦子</p> | <p>総務部
◎境 慎一
○藤田 和子
野村 浩司
本目 春夫
野村 敏子</p> | <p>会計監事
狩野 栄一
山田 博</p> | <p>副会長
境 慎一
榎本 和江</p> | <p>会長
大久保貢祐</p> | <p>文化部
◎櫻井 悠介
○稲葉 正
北沢五百子
有住 賢一
齋藤 喬夫
曾田 稔</p> | <p>体育部
◎瀧澤 邦夫
○澤本 弘子
伊藤 能子
梅田眞一郎
原田 英俊</p> | <p>和地区民集会所運営部(兼務)
◎伊藤 能子
○北沢五百子
高安千代子
野村 敏子
渡辺みどり</p> | <p>運営協議会
メンバー</p> | <p>コミュニティ推進部
◎榎本 和江
○村松 一雄
○蟻川 寛
渡辺みどり
関口富久子
若ヶ原義彦</p> | <p>文化部
井口 尚之
藤原由輝子
武藤由美子
井出 信子</p> | <p>体育部
久田 照子
玉木 茂男</p> |
|---|---|--------------------------------|-------------------------------|---------------------|--|--|---|-----------------------|--|--|--------------------------------|

コミュニティすく〜る

11月5日(水)
歴史と自然の散歩道

杉並大宮菊花展



杉並区立郷土博物館

退任された皆さん
ご苦労様でした

会長 秋澤 博之
副会長 栗谷 義明
岩船 守男
安藤 秀男
原田 光江
星川 律子
三上 典子
奥澤 正子

コミュニティ推進部
井出 信子
武藤由美子
藤原由輝子
井口 尚之
松本 和子
菊地 三佳
久田 照子

Return slip form with columns for name, address, and phone number.

ケア24 堀ノ内

ケア24堀ノ内は堀ノ内一丁目、大宮一丁目、和泉三・四丁目、永福四丁目を担当地域として活動しており、保健福祉の専門職4名が相談業務にあたっています。介護保険や高齢者福祉サービスの相談・申請、介護予防支援事業の利用支援など、高齢者の方々が必要なサービスを受けられるようお手伝いしています。状況に応じてご自宅まで訪問しますので気軽に相談ください。

高齢者の方々だけでなく、介護をしているご家族への情報提供として、定期的に「家族介護者教室」を開催しています。これまでに「在宅介護お役立ちシリーズ」と題して高齢者の口腔ケア、食事・栄養、介護者の健康維持といった内容や、認知症への理解を深めるための題材を取り上げてきました。今後も、ご自宅での介護の疑問や不安を少しでも解消できるようなテーマで開催していきます。事前に広報で告知



介護予防教室の様子

しますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

杉並区では、高齢者の方々が住みながら場所を安心して過ごせる地域づくりを目指して事業を展開しています。そのひとつが「地域のたすけあいネットワーク」。災害時に備える「地域の目」、安否の確認をする「地域の目」



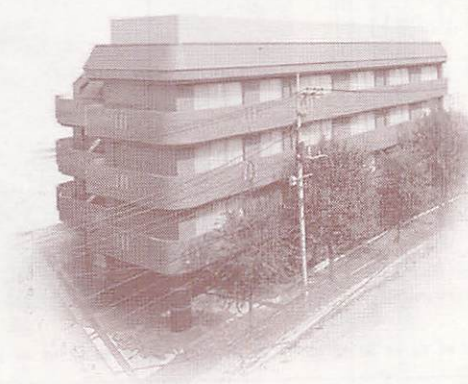
お茶会でボランティアによる出し物

の2種類があり、ケア24では申請を受け付けるほかに「地域の目」の活動運営を行っています。一人暮らしや高齢者のみの世帯が今後も増えていくなかで、地域のつながりを深めていくお手伝いができればと思っています。

また、地域交流の一環として、定期的に高齢者の方々をお招きする「お茶会」を開催しています。皆さんでお茶菓子をつまみながら、談笑したり合唱したりと楽しい会となっています。

これらの活動以外にも、地域医療に力を入れているドクターによる月1回の物忘れ相談や車椅子の貸し出しなど

もしておりますので、まずはお気軽にご相談ください。
最後になりましたが、ケア24堀ノ内は方南通り沿いにある介護老人保健施設ワエルファアの1階に窓口を設置しています。地下鉄丸の内線「方南町」駅より徒歩5分。京王バス「八幡通り」バス停の目の前という好立地であり、気軽に立ち寄れる地域の相談窓口を目指しております。ご来所の際は、濃紺の外観をした4階建ての建物を目印にお越しください。



濃紺の外壁が目印

次号164号は
1月20日
発行予定です

大陸は移動する(1)

小川 公夫

読者のみなさんは、地球の内部構造の一つであるプレートという言葉を聞きなれたことはいくらもありませんか。中国四川大地震は、インド「プレート」がユーラシア「プレート」にぶつかって出来た歪みが生じた原因であるとか、発生が予想される東海地震は、フィリピン「プレート」が日本の下に沈み込んでいことから発生するといわれています。

教科書にある「プレート」

杉並区が採用している理科の教科書には、次の枠内にあるような文章があります(次枠参照)。

プレート(Plate)とは「板」のこと。地球の表面は十数枚の岩石の板(プレート)で覆われているといわれています。大陸がひとつ乗るようなとつもない広さで、厚さは100km程度ではないかと考えられています。熱い物質が地球内部から海嶺のところで湧きだし、プレートを押し下す。一度その上に大陸を乗せてベルトコンベアのように移動するので、大陸が

「海嶺では、地球内部からわき出し熱い物質が冷えて固まり、プレートがつくられています。このような動きによって、かつて一つの大陸であった南北アメリカとヨーロッパ、アフリカが、引きさかれて移動し、現在のようになりなりました。」
海嶺(海嶺)は、現在のような形になりました。海嶺(海嶺)は、現在のような形になりました。海嶺(海嶺)は、現在のような形になりました。

ウエゲナーの斬新な発想

実はこの大陸が移動して現在の分布になったという考え方のおおもとは、なんと約百年も前の一人の科学者が発想していました。その科学者とは、ドイツの気象学者アルフレッド・ウエゲナー(一八八〇～一九三〇年)です。

一九一三年「大陸と海洋の起源」という書物を出版し、その中で「大陸は移動する」と主張したので、現在残っている石炭紀の氷河の分布から約3億年前には、これらは一つに集まり、三疊紀頃から分離し始めたと考えました。

ウエゲナーは自分の考え方を証



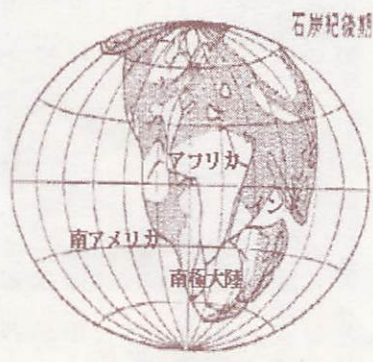
明するために、広く文献を収集して理論を組立てました。その結果、今まで謎だった様々な事実が、大陸移動説にしたがえばうまく説明することを明らかにしたので、先代の教科書の文章で「大陸が引き裂かれた(逆に言えば、もとは一つの超大陸(パンゲア大陸)だった)」(下図)は、彼が百年近く前に発想していたことなのです。

ウエゲナーのこの考え方は、今日「大陸移動説」と呼ばれています。大陸移動説は、当時の常識に対して、とんでもない発想の転換を迫るものでした。

その一つに山脈のでき方がありました。その当時の科学者は、かつて地球の内部にあった多量の熱が放散し、地球が冷え、収縮した時の皺が山脈であると考えていたのです。ところが、ウエゲナーは違いました。「大陸が移動すると、その前面が皺のように盛り上がり山脈になる」というのです。

要は、山脈がつくられるわけを、縦方向の運動ではなく、横方向の運動に求めたわけです。ウエゲナーは斬新な発想をしたのです。

しかしながら、大陸移動説には、アキレス腱ともいえる大きな弱点があったのです。それは、「大陸を



動かし山脈をつくるエネルギーは何か」でした。
さて、今回は大陸移動説がその後どのような運命にさらされたか、そしてプレートという考え方がどのように誕生するかをお話しいたしましょう。

小川 公夫 氏：杉並区立高門寺中学校 主幹

〔引用文献〕新しい科学2上東京書籍「地球の科学」エクス

休館日お知らせカレンダー

Calendar for December and January with symbols for closure days.